

監 査 委 員 公 告

八峰町監査委員公告第2号

令和4年8月23日

八峰町代表監査委員 名 畑 吉 男



八峰町監査委員 門 脇 直 樹



令和4年度八峰町簡易水道事業会計及び下水道事業会計決算審査
結果の意見書公表について

地方公営企業法第30条第2項の規定により、審査に付された令和3年度分の八峰町簡易水道事業会計及び下水道事業会計決算について、審査結果を別紙意見書のとおり公表する。

八峰町簡易水道事業会計
八峰町長 森 田 新一郎 様
八峰町下水道事業会計
八峰町長 森 田 新一郎 様
八峰町議会
議長 皆 川 鉄 也 様

八峰町代表監査委員 名 畑 吉 男



八峰町監査委員 門 脇 直 樹



令和 4 年度八峰町簡易水道事業会計及び下水道事業会計決算審査意見書

第 1. 審査の概要

1. 審査の対象

- (1) 令和 3 年度八峰町簡易水道事業会計
- (2) 令和 3 年度八峰町下水道事業会計

※付属書類

- ①簡易水道事業会計及び下水道事業会計決算書
- ②各会計決算書決算審査説明資料
- ③各会計 3 条決算・4 条決算説明資料

2. 実施審査の場所

- (1) 書類審査 八峰町役場
- (2) 現地調査 なし

- 3. 審査の実施日 令和 4 年 7 月 20 日 (水) ~ 令和 4 年 7 月 28 日 (木)
令和 4 年 8 月 10 日 (水)

4. 審査の手続き

決算の審査は、審査に付された令和 3 年度の八峰町簡易水道事業会計及び下水道事業会計決算書について、予算書、決算報告書、損益計算書、剰余金計算書、剰余金処分計算書、貸借対照表及び決算付属書類並びに決算説明資料等について計数とその内容について精査を行うとともに、経営と財政の状況について審査した。

また、担当職員の説明を聴取する方法により、予算の執行及び事務処理についての審査を実施した。

第2. 審査の結果

審査に付された令和3年度簡易水道事業会計決算書、令和3年度下水道事業会計決算書、各会計決算書決算審査説明資料、及び各会計第3条予算・第4条予算別説明資料は、関係法令に準拠して作成されている。

審査結果の詳細は、次のとおりである。

1. 決算の状況

【簡易水道事業会計】

(1) 収益的収支の状況

(単位：円：%)

区 分	収 入	支 出	差 引	備 考
予算額(最終)	267,624,000	267,624,000	0	
決算額(税込)	268,038,397	256,783,547	11,254,850	
決算額(税抜)	258,160,365	251,661,302	6,499,063	
執行率(税込)	100.15	95.95		

(2) 資本的収支の状況

(単位：円：%)

区 分	収 入	支 出	差 引	備 考
予算額(最終)	226,813,000	231,813,000	△ 5,000,000	
決算額(税込)	212,395,800	213,730,296	△ 1,334,496	
翌年度繰越額		2,200,000		観海浄水場改良調査等設計業務
決算額(税抜)	212,395,800	207,490,567	4,905,233	
執行率(税込)	93.64	92.20		

注1) 財源補填内訳

○過年度分損益勘定留保資金	1,334,496 円
○当年度消費税資本的資金収支調整額	0 円
合 計	1,334,496 円

(3) 損益計算表

項 目	令和3年度	令和2年度	前年度比
事業収益 (A)	103,703,541	94,677,956	9,025,585
営業費用 (B)	233,581,695	224,887,065	8,694,630
営業利益 (C) (A) - (B)	△ 129,878,154	△ 130,209,109	330,955
営業外収益 (D)	154,801,077	144,517,125	10,283,952
営業外費用 (E)	19,094,396	18,142,121	952,275
営業外利益 (F) (D) - (E)	135,706,681	126,375,004	9,331,677
経常利益 (G) (C) + (F)	5,828,527	△ 3,834,105	9,662,632
特別損失 (H)	△ 1,042,277	△ 4,779,016	3,736,739
当年度純利益 (I) (G) + (H)	4,786,250	△ 8,613,121	13,399,371
前年度繰越利益剰余金 (J)	0	0	0
当年度未処分利益剰余金 (K) (I) + (J)	4,786,250	△ 8,613,121	13,399,371

※特別損失 (H) 前年度比 プラス=損失額減少

(4) 貸借対照表

項 目	令和3年度	令和2年度	前年度比
●資産の部			
有形固定資産(A)	2,619,261,872	2,712,686,562	△ 93,424,690
無形固定資産(B)	0	0	0
固定資産合計(C) (A)+(B)	2,619,261,872	2,712,686,562	△ 93,424,690
現金預金(D)	237,519,796	123,150,135	114,369,661
未収金(E)	5,843,120	7,177,684	△ 1,334,564
貸倒引当金(F)	0	0	0
貯蔵品(G)	4,899,140	4,079,940	819,200
流動資産(H) (D)+(E)+(F)+(G)	248,262,056	134,407,759	113,854,297
資産の部合計(I) (C)+(H)	2,867,523,928	2,847,094,321	20,429,607
●負債の部合計			
固定負債「企業債」(J)	1,354,980,545	1,447,887,958	△ 92,907,413
一時借入金(K)	0	0	0
企業債(L)	146,407,413	139,852,226	6,555,187
未払金(M)	2,715,965	1,010,633	1,705,332
預り金(N)	0	0	0
引当金(O)	1,464,057	1,482,000	△ 17,943
流動負債(P) (K)+(L)+(M)+(N)+(O)	150,587,435	142,344,859	8,242,576
長期前受金(Q)	976,375,277	967,558,730	8,816,547
長期前受金収益化累計額(R)	△ 121,792,122	△ 63,548,769	△ 58,243,353
繰延収益(S) (Q)+(R)	854,583,155	904,009,961	△ 49,426,806
負債の部合計(T) (J)+(P)+(S)	2,360,151,135	2,494,242,778	△ 134,091,643
●資本の部			
資本金(U)	502,586,543	361,464,664	141,121,879
資本剰余金(V)	0	0	0
利益剰余金(W)	4,786,250	△ 8,613,121	13,399,371
剰余金(X) (V)+(W)	4,786,250	△ 8,613,121	13,399,371
資本の部合計(Y) (U)+(X)	507,372,793	352,851,543	154,521,250
負債資本合計(Z) (T)+(Y)	2,867,523,928	2,847,094,321	20,429,607

※ 長期前受金収益化累計額(R)前年比 △=増加

【下水道事業会計】

(1) 収益的収支の状況

(単位：円：%)

区 分	収 入	支 出	差 引	備 考	
予算額(最終)	376,003,000	376,003,000	0		
内 訳	公共下水道	245,867,000	245,867,000	0	
	農業集落	75,594,000	75,594,000	0	
	漁業集落	54,542,000	54,542,000	0	
決算額(税込)	480,674,237	482,796,736	△ 2,122,499		
内 訳	公共下水道	328,473,814	329,436,654	△ 962,840	
	農業集落	79,681,089	75,774,026	3,907,063	
	漁業集落	72,519,334	77,586,056	△ 5,066,722	
決算額(税抜)	473,555,965	472,971,140	584,825		
執行率(税込)	127.84	128.40			

(2) 資本的収支の状況

(単位：円：%)

区 分	収 入	支 出	差 引	備 考	
予算額(最終)	199,896,000	200,017,000	△ 121,000		
内 訳	公共下水道	147,934,000	147,952,000	△ 18,000	
	農業集落	37,396,000	37,469,000	△ 73,000	
	漁業集落	14,566,000	14,596,000	△ 30,000	
決算額(税込)	197,296,000	197,400,154	△ 104,154		
内 訳	公共下水道	145,734,000	145,743,194	△ 9,194	
	農業集落	37,096,000	37,182,226	△ 86,226	
	漁業集落	14,466,000	14,474,734	△ 8,734	
決算額(税抜)	197,296,000	192,954,154	4,341,846		
執行率(税込)	98.70	98.69			

注1) 財源補填内訳

○過年度分損益勘定留保資金 104,154 円

○当年度消費税資本的資金収支調整額 0 円

合 計 104,154 円

(3) 損益計算表

項 目	令和3年度	令和2年度	前年度比
事業収益 (A)	71,753,605	70,845,845	907,760
営業費用 (B)	439,339,308	478,415,660	△ 39,076,352
営業利益 (C) (A) - (B)	△ 367,585,703	△ 407,569,815	39,984,112
営業外収益 (D)	398,036,581	432,249,003	△ 34,212,422
営業外費用 (E)	38,694,821	36,217,360	2,477,461
営業外利益 (F) (D) - (E)	359,341,760	396,031,643	△ 36,689,883
経常利益 (G) (C) + (F)	△ 8,243,943	△ 11,538,172	3,294,229
特別利益 (H)	4,801,167	0	4,801,167
特別損失 (I)	2,090,335	△ 3,687,882	5,778,217
当年度純利益 (J) (G) + (H) - (I)	△ 5,533,111	△ 15,226,054	9,692,943
前年度繰越利益剰余金 (J)	0	0	0
当年度未処分利益剰余金 (K) (I) + (J)	△ 5,533,111	△ 15,226,054	9,692,943

※特別損失 (H) 前年度比 プラス=損失額減少

(4) 貸借対照表

項 目	令和3年度	令和2年度	前年度比
●資産の部			
有形固定資産(A)	7,456,308,534	7,725,345,374	△ 269,036,840
無形固定資産(B)	15,755,668	16,662,512	△ 906,844
固定資産合計(C) (A)+(B)	7,472,064,202	7,742,007,886	△ 269,943,684
現金預金(D)	295,079,631	177,722,234	117,357,397
未収金(E)	8,829,152	5,768,977	3,060,175
貸倒引当金(F)	0	0	0
その他の流動資産(G)	0	0	0
流動資産(H) (D)+(E)+(F)+(G)	303,908,783	183,491,211	120,417,572
資産の部合計(I) (C)+(H)	7,775,972,985	7,925,499,097	△ 149,526,112
●負債の部合計			
固定負債「企業債」(J)	1,533,452,338	1,641,449,658	△ 107,997,320
一時借入金(K)	0	0	0
企業債(L)	156,797,320	148,494,154	8,303,166
未払金(M)	13,158,332	13,334,279	△ 175,947
預り金(N)	0	0	0
引当金(O)	1,427,460	1,415,000	12,460
流動負債(P) (K)+(L)+(M)+(N)+(O)	171,383,112	163,243,433	8,139,679
長期前受金(Q)	4,757,770,311	4,758,805,699	△ 1,035,388
長期前受金収益化累計額(R)	△ 411,975,374	△ 220,379,402	△ 191,595,972
繰延収益(S) (Q)+(R)	4,345,794,937	4,538,426,297	△ 192,631,360
負債の部合計(T) (J)+(P)+(S)	6,050,630,387	6,343,119,388	△ 292,489,001
●資本の部			
資本金(U)	1,706,145,579	1,572,875,633	133,269,946
資本剰余金(V)	24,730,130	24,730,130	0
利益剰余金(W)	△ 5,533,111	△ 15,226,054	9,692,943
剰余金(X) (V)+(W)	19,197,019	9,504,076	9,692,943
資本の部合計(Y) (U)+(X)	1,725,342,598	1,582,379,709	142,962,889
負債資本合計(Z) (T)+(W)	7,775,972,985	7,925,499,097	△ 149,526,112

※ 長期前受金収益化累計額(R)前年比 △=増加

2. 未収金の状況

【簡易水道事業会計】

(1) 水道料金収納状況

(単位：円：%)

年 度	決 算 額	収入金額	不納欠損額	未収入金額	不納欠損前 取 納 率	備 考	
R 3	現年度	108,658,453	106,512,544	0	2,145,909	98.03	前年度比 △ 0.26 ポイント
	過年度	4,112,890	1,318,270	0	2,794,620	32.05	前年度比 △ 0.09 ポイント
	合 計	112,771,343	107,830,814	0	4,940,529	95.62	前年度比 △ 0.50 ポイント
R 2	現年度	102,520,170	100,762,290	0	1,757,880	98.29	前年度比 0.49 ポイント
	過年度	3,470,470	1,115,460	0	2,355,010	32.14	前年度比 △ 7.05 ポイント
	合 計	105,990,640	101,877,750	0	4,112,890	96.12	前年度比 △ 0.81 ポイント

(2) その他営業収益

(単位：円：%)

年 度	決 算 額	収入金額	不納欠損額	未収入金額	不納欠損前 取 納 率	備 考		
令 和 3 年 度	現年度分	4,923,120	4,896,320	0	26,800	99.46		
	内 訳	手数料	430,000	403,200	0	26,800	93.77	加入・開閉栓・工事申込・業者指定
		他会計負担金	4,493,120	4,493,120	0	0	100.00	消火栓修繕・メーター検針業務等
		その他雑収益	0	0	0	0	-	
	過年度分	1,129,990	1,126,790	0	3,200	99.72		
合 計	6,053,110	6,023,110	0	30,000	99.50			
令 和 2 年 度	現年度分	1,477,790	351,000	0	1,126,790	23.75		
	内 訳	手数料	372,000	299,200	0	72,800	80.43	加入・開閉栓・工事申込・業者指定
		他会計負担金	1,095,790	41,800	0	1,053,990	3.81	消火栓修繕・メーター検針業務
		その他雑収益	10,000	10,000	0	0	100.00	その他雑役収入
	過年度分	6,800	3,600	0	3,200	52.94		
合 計	1,484,590	354,600	0	1,129,990	23.89			

【下水道事業会計】

(1) 下水道料金収納状況

(単位：円：%)

年 度	決 算 額	収入金額	不納欠損額	未収入金額	不納欠損前 収 納 率	備 考		
令和3年度	現年度	78,134,330	77,275,010	0	859,320	98.90	前年度比 0.11 ポイント	
	内訳	公共	60,212,940	59,513,270	0	699,670	98.84	前年度比 △ 0.05 ポイント
		農集	10,771,080	10,653,640	0	117,440	98.91	前年度比 0.77 ポイント
		漁集	7,150,310	7,108,100	0	42,210	99.41	前年度比 0.57 ポイント
	過年度	1,678,501	945,590	0	732,911	56.34	前年度比 2.43 ポイント	
	内訳	公共	1,359,721	717,740	0	641,981	52.79	前年度比 7.34 ポイント
		農集	197,250	180,420	0	16,830	91.47	前年度比 △ 10.62 ポイント
		漁集	121,530	47,430	0	74,100	39.03	前年度比 △ 26.90 ポイント
	合計	79,812,831	78,220,600	0	1,592,231	98.01	前年度比 0.12 ポイント	
	内訳	公共	61,572,661	60,231,010	0	1,341,651	97.82	前年度比 0.04 ポイント
農集		10,968,330	10,834,060	0	134,270	98.78	前年度比 0.56 ポイント	
漁集		7,271,840	7,155,530	0	116,310	98.40	前年度比 0.03 ポイント	
令和2年度	現年度	77,886,410	76,940,130	0	946,280	98.79	前年度比 0.11 ポイント	
	内訳	公共	59,926,150	59,262,370	0	663,780	98.89	前年度比 0.14 ポイント
		農集	10,629,370	10,432,120	0	197,250	98.14	前年度比 0.04 ポイント
		漁集	7,330,890	7,245,640	0	85,250	98.84	前年度比 △ 0.12 ポイント
	過年度	1,579,691	851,590	0	728,101	53.91	前年度比 3.75 ポイント	
	内訳	公共	1,275,731	579,790	0	695,941	45.45	前年度比 7.99 ポイント
		農集	197,470	201,590	0	△ 4,120	102.09	前年度比 2.71 ポイント
		漁集	106,490	70,210	0	36,280	65.93	前年度比 10.77 ポイント
	合計	79,466,101	77,791,720	0	1,674,381	97.89	前年度比 △ 0.10 ポイント	
	内訳	公共	61,201,881	59,842,160	0	1,359,721	97.78	前年度比 △ 0.12 ポイント
農集		10,826,840	10,633,710	0	193,130	98.22	前年度比 0.09 ポイント	
漁集		7,437,380	7,315,850	0	121,530	98.37	前年度比 △ 0.16 ポイント	

(2) その他営業収益

(単位：円：%)

年 度	決 算 額	収入金額	不納欠損額	未収入金額	不納欠損前 取 納 率	備 考		
令和3 年度	現年度	210,000	180,000	0	30,000	85.71		
	内 訳	公共	210,000	180,000	0	30,000	85.71	排水設備工事指定店
		農集	0	0	0	0	-	
		漁集	0	0	0	0	-	
	過年度	74,000	6,000	56,000	12,000	8.11		
	内 訳	公共	38,000	6,000	20,000	12,000	15.79	受益者分担金
		農集	36,000	0	36,000	0	0.00	
		漁集	0	0	0	0	-	
	合計	284,000	186,000	56,000	42,000	65.49		
	内 訳	公共	248,000	186,000	20,000	42,000	75.00	
農集		36,000	0	36,000	0	0.00		
漁集		0	0	0	0	-		
令和2 年度	現年度	40,000	40,000	0	0	100.00		
	内 訳	公共	40,000	40,000	0	0	100.00	排水設備工事指定店
		農集	0	0	0	0	-	
		漁集	0	0	0	0	-	
	過年度	543,000	10,000	459,000	74,000	1.84		
	内 訳	公共	48,000	10,000	0	38,000	20.83	排水設備指定店 受益者分担金
		農集	495,000	0	459,000	36,000	0.00	
		漁集	0	0	0	0	-	
	合計	583,000	50,000	459,000	74,000	8.58		
	内 訳	公共	88,000	50,000	0	38,000	56.82	
農集		495,000	0	459,000	36,000	0.00		
漁集		0	0	0	0	-		

3. 過去5年間の業務量

【簡易水道事業会計】

年度/区分	年度末人口	年度末給水人口	総配水量(m ³)	有収水量(m ³)	有収率(%)	普及率	有収率前年比
令和3年度	6,603	6,203	926,520	711,995	76.80	99.40	2.48 ポイ
令和2年度	6,796	6,378	907,729	674,645	74.32	99.50	△ 4.04 ポイ
令和元年度	6,965	6,503	938,205	735,178	78.36	99.50	△ 2.86 ポイ
平成30年度	7,115	6,660	945,355	767,864	81.22	99.50	1.69 ポイ
平成29年度	7,284	6,824	969,630	771,170	79.53	99.50	

※令和元年度以前の数値は、公営企業会計移行前。

【下水道事業会計】

年度/区分	年度末人口	処理区域内人口	水洗化人口	普及率(%)	水洗化率(%)	年間有収水量(m ³)	変動(水洗化率)	有収率(%) 下水/簡水	変動(有収水)	
令和3年度	計	6,603	6,334	4,544	95.93	71.74	437,230	前年 1.07 ポイ	61.41	前年比 △ 3.30 ポイ
	公共		4,570	3,402	69.21	74.44	335,413	前年 1.00 ポイ		
	農集		1,114	701	16.87	62.93	60,856	前年 1.29 ポイ		
	漁集		650	441	9.84	67.85	40,961	前年 0.88 ポイ		
令和2年度	計	6,796	6,519	4,607	95.92	70.67	436,561	前年 0.78 ポイ	64.71	前年比 6.30 ポイ
	公共		4,691	3,445	69.03	73.44	335,142	前年 0.71 ポイ		
	農集		1,168	720	17.19	61.64	60,458	前年 1.47 ポイ		
	漁集		660	442	9.71	66.97	40,961	前年 0.01 ポイ		
令和元年度	計	6,965	6,686	4,673	95.99	69.89	429,431	前年 0.43 ポイ	58.41	前年比 1.83 ポイ
	公共		4,804	3,494	68.97	72.73	330,903	前年 △ 0.05 ポイ		
	農集		1,195	719	17.16	60.17	58,069	前年 2.77 ポイ		
	漁集		687	460	9.86	66.96	40,459	前年 △ 0.09 ポイ		
平成30年度	計	7,115	6,827	4,742	95.95	69.46	434,446	前年 1.96 ポイ	56.58	前年比 △ 0.10 ポイ
	公共		4,916	3,578	69.09	72.78	334,938	前年 2.12 ポイ		
	農集		1,216	698	17.09	57.40	57,962	前年 1.73 ポイ		
	漁集		695	466	9.77	67.05	41,546	前年 1.59 ポイ		
平成29年度	計	7,284	6,993	4,720	96.00	67.50	437,109	前年 3.39 ポイ	56.68	前年比 #REF! ポイ
	公共		5,047	3,566	69.29	70.66	337,293	前年 4.14 ポイ		
	農集		1,225	682	16.82	55.67	56,900	前年 1.46 ポイ		
	漁集		721	472	9.90	65.46	42,916	前年 1.43 ポイ		

※令和元年度以前の数値は、公営企業会計移行前。

4. 過去5年間の企業債（起債）の状況

【簡易水道事業会計】

(単位：円)

年度/区分	前年度末残高(A)	借入額(B)	償還高		本年度末残高 (A) + (B) - (C)
			元金(C)	利子	
令和3年度	1,587,740,184	53,500,000	139,852,226	17,037,330	1,501,387,958
令和2年度	1,661,308,839	61,800,000	135,368,655	18,142,121	1,587,740,184
令和元年度	1,758,334,000	35,100,000	132,125,000	19,233,000	1,661,309,000
平成30年度	1,870,724,000	17,300,000	129,690,000	20,630,000	1,758,334,000
平成29年度	1,968,607,000	18,700,000	116,583,000	22,502,000	1,870,724,000

※令和元年度以前の数値は、各年度「歳入歳出決算書」による。(千円未満処理後)

【下水道事業会計】

(単位：円)

年度/区分	前年度末残高(A)	借入額(B)	償還高		本年度末残高 (A) + (B) - (C)	
			元金(C)	利子		
令和3年度	合計	1,789,943,812	48,800,000	148,494,154	31,541,497	1,690,249,658
	公共	1,244,595,688	41,900,000	103,833,194	21,442,503	1,182,662,494
	農集	351,816,455	4,500,000	32,595,226	6,750,364	323,721,229
	漁集	193,531,669	2,400,000	12,065,734	3,348,630	183,865,935
令和2年度	合計	1,922,504,134	19,900,000	152,460,322	34,195,860	1,789,943,812
	公共	1,346,221,193	0	101,625,505	23,269,513	1,244,595,688
	農集	390,813,298	0	38,996,843	7,372,591	351,816,455
	漁集	185,469,643	19,900,000	11,837,974	3,553,756	193,531,669
令和元年度	合計	2,047,196,000	44,800,000	169,491,000	37,009,000	1,922,505,000
	公共	1,410,981,000	44,800,000	109,560,000	25,127,000	1,346,221,000
	農集	434,455,000	0	43,641,000	8,063,000	390,814,000
	漁集	201,760,000	0	16,290,000	3,819,000	185,470,000
平成30年度	合計	2,185,496,000	35,100,000	173,400,000	39,952,000	2,047,196,000
	公共	1,487,516,000	35,100,000	111,635,000	27,051,000	1,410,981,000
	農集	478,051,000	0	43,596,000	8,770,000	434,455,000
	漁集	219,929,000	0	18,169,000	4,131,000	201,760,000
平成29年度	合計	2,374,558,000	19,300,000	208,362,000	43,348,000	2,185,496,000
	公共	1,601,679,000	19,300,000	133,463,000	29,263,000	1,487,516,000
	農集	521,721,000	0	43,670,000	9,475,000	478,051,000
	漁集	251,158,000	0	31,229,000	4,610,000	219,929,000

※令和元年度以前の数値は、各年度「歳入歳出決算書」による。(千円未満処理後)

5. 個別意見

審査の目的は、財務に関する事務の執行及び経営に係る管理が適法・適正に処理され、かつ予算の執行が効率的に行われているかどうか等、決算結果を分析し、その成果を見極めて更に今後の指標とする役割を担うことにある。

今回、令和3年度の八峰町簡易水道事業会計及び八峰町下水道事業会計について審査した。

各事業会計等における意見は、以下のとおり。

【簡易水道事業会計】

(1) 収益的収支では、水道事業収益は268,038,397円で、その内簡易水道料金である現年度分の営業収益は113,581,573円となった。水道事業費用は256,783,547円で、その収支はプラス11,254,850円となっている。

令和3年度の純利益は4,786,250円の黒字となっているが、昨年度8,613,121円の赤字を計上しているため累積では赤字の状態となっている。

資本的収支では、資本的収入は212,395,800円で、その内施設・設備等工事費負担金は9,160,800円。資本的支出は213,730,296円で、その内建設改良費は73,878,070円となっている。なお、収支のマイナス分1,334,496円については、過年度分損益勘定留保資金で補てんしている。

工事内容としては、取水量を管理するための塙地区簡易水道流量計設置工事や八森地区老朽管更新工事、八森浄水場施設改良工事、小入川導水ポンプ更新工事、沢目地区簡易水道フェンス更新工事など、老朽化や経年劣化に対応した更新や消火栓更新も行われている。突発的な漏水事案も発生していることから、安心・安全な飲料水供給に向けた施設の維持・管理と火災等有事の際の対応に努めてもらいたい。なお、観海浄水場改良調査等設計業務2,200,000万円を繰越しとしている。

給水区域内の普及率が99.4%と100%に近い数値となっているが、有収率も76.8%となり昨年度からは改善されたものの総配水量の80%未満となっている。給水区域内の人口減少により使用水量の減少も見込まれることから、住民にとって最も重要なインフラであることは理解しつつも、漏水対策含め効率的な経営に努力願いたい。

前述のとおり、当年度純利益では黒字を計上しているものの、累積では赤字となっている。町からの補助金を増額し黒字とすることも可能ではあるが、町の一般会計からは補助金額は95,049,000円と多額の交付を受けている。令和3年度の町の財政状況は、各種財政指標で健全域を維持しているものの、今後も少子高齢化による人口減少等に伴い交付税や町税等の減収が想定されるほか、大型事業の起債の償還も予定され厳しい財政運営が強いられることは確実な状況にある。経営合理化として浄水場の統合やダウンサイジング、水道料金の改定による営業収益の改善も検討の選択肢としてもらいたい。

(2) 営業収益にあたる水道料金は、現年分で106,512,544円となり前年度比5,750,254円の増となっているが、今後は人口減少による水道使用料の減収が想定される。

未収金額は、過年度分を含め4,940,529円で前年度と比較して827,639円の増となっている。収納率は現年度分が98.03%で前年度マイナス0.26ポイント、過年度分を含む全体でも95.62%で前年度マイナス0.50ポイントと減少している。

滞納者との折衝を効果的に行い、早期からの関わりや分納誓約を結ぶなど未収金を減少させることを目標に取り組んでももらいたい。公平な受益者負担を保つためにも今後なお一層の努力を求める。

以上、審査の結果について意見を述べたが、施設の効率的な管理に万全を期して安全で良質な水道水を安定供給し、町民の生活向上と福祉の増進に貢献するための合理的で健全な経営を期待する。

【下水道事業会計】

(1) 収益的収支では、下水道事業収益は 480,674,237 円で、その内下水道使用料である現年度分の営業収益は 78,871,877 円となった。下水道事業費用は 482,796,736 円で、その収支はマイナス 2,122,499 円となっている。

当年度純利益はマイナス 5,533,111 円で、前年度のマイナス 15,226,054 円からは減少しているものの 2 年連続の赤字を計上している。

資本的収支では、資本的収入は 197,296,000 円で、各施設更新工事に伴う建設改良費の資金として総額 48,800,000 円の企業債借入れを行っている。資本的支出は 197,400,154 円で、その収支はマイナス 104,514 円となっており、過年度分損益勘定留保資金で補てんしている。

建設改良は、特定環境保全公共下水道事業で上畑谷と八森処理区のマンホールポンプ設備更新工事、農業集落排水事業で石川地区処理施設の脱臭ファン更新工事と岩子・大久保岱処理施設の非常通報装置更新工事、漁業集落排水事業で岩館漁業集落排水施設内の非常通報装置更新工事が行われた。

前述のとおり、単年度の赤字額は減少したものの、純利益で 2 年続けての赤字を計上している。町の一般会計からは簡易水道事業会計のほぼ 2 倍となる 198,221,740 円の補助金交付を受けており、簡易水道事業同様に経営合理化として処分場の統廃合、使用料の改定についても検討いただきたい。

(2) 下水道事業における今年度の年間有収水量は 437,230 m³で前年度に比べ 669 m³増加しているが、5 年間で見ると約 435,000 m³で大きな変動は見られない。簡易水道有収水量に対する下水道全体有収水量の比率が 61.41%と前年に比べ 3.3 ポイント減少している。下水道普及率は 71.74%と前年度から 1.06 ポイント増加しているが、人口減少等により非水洗化世帯が減少したことによるものと想定される。

下水道事業は、住民にとって最も重要なインフラであることに加え環境面への配慮も必要なことから、効率的な運営はもとより加入率向上に向けた取り組みに努力願いたい。

(3) 営業収益にあたる下水道使用料は、現年度で 77,275,010 円で前年度比

334,880 円の増となっている。

未収入金額は、過年度分を含め 1,592,231 円となり前年度比 86,270 円の減となっている。収納率は、現年度分が 98.90%で前年度プラス 0.11 ポイント、過年度分を含む全体では 98.01%で前年度プラス 0.12 ポイントとわずかながら改善している。

簡易水道事業会計同様、滞納者との折衝を効果的に行い、早期からの関わりや分納誓約を結ぶなど未収金を減少させることを目標に取り組んでもらいたい。公平な受益者分担を保つためにも今後なお一層の努力を求める。

以上、審査の結果について意見を述べたが、施設の効率的な維持管理に万全を期して安定した処理を行い、快適で良好な生活慣行を維持して行くため、合理的で健全な経営を期待する。

結びに

今回の審査に際しては、公営企業法に基づく 2 度目の審査となり、担当職員には、昨年引き続き資料作成、審査日程等に協力いただいたことに深く感謝する。

周知のとおり、令和 2 年度の公営企業会計移行に際しては多額の費用を要したほか、両事業会計ともに純利益は累積では赤字となっている。繰り返しとなるが合理的で健全な経営を期待する。

また、複式簿記による公営企業会計の事務処理は、単式簿記である町会計の事務処理とは大きく異なり、担当する職員には異なるスキルが必要となることから、後任の育成にも努めてもらいたい。